

科目名	精神看護学演習Ⅱ Psychiatric Nursing Seminar for Certified Nursing SpecialistⅡ
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 C 応談
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)精神看護専門看護師に必要な機能と役割について説明できる (2)処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者の事例を科学的に分析し、援助計画を立案できる (3)処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者のコンサルテーションに関する事例を科学的に分析し、援助計画を立案できる (4)処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者と家族がもつ倫理的問題について倫理調整に向けて分析し、援助計画を立案できる (5)処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者の援助において保健、医療、福祉に携わる人々をコーディネーションするための計画を立案できる (6)臨床スタッフのストレス・コーピング、臨床倫理、教育に関する計画を立案することができる (7)処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者の援助に関する研究の動向を理解し、系統的にまとめることができる。 (8)精神科医療チームにおける専門看護師の役割と機能を理解し、事例を科学的に分析し、援助計画を立案し、論理的にまとめて述べるができる (9)各自の実習課題に関する研究論文から研究の動向を理解し、今後のあり方について論理的にまとめて述べるができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 必修科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者に限る
授業概要	精神看護の専門看護師に必要な機能と役割である実践、コンサルテーション、倫理調整、コーディネーション、教育、研究活動について基礎的知識と方法を習得する
キーワード	精神看護専門看護師の役割と機能、処遇困難患者、重度の患者
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(コンサルテーション:服薬・症状管理・治療や社会資源の活用等への意志決定)(森千鶴) 2(倫理調整:処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者、家族の倫理的問題解決)(森千鶴) 3(コーディネーション;保健医療福祉関係者とのコーディネーションが必要な事例)(森千鶴) 4(家族支援;処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者の家族に関する事例)(菅谷智一) 5(スタッフ教育:臨床スタッフのストレス・コーピング、臨床倫理に関する現状分析)(森千鶴) 6(ケースマネジメントにおける専門看護師の役割と機能)(森千鶴) 7(ケースマネジメント:処遇困難、重度、慢性期精神疾患患者のアセスメントと援助計画)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する 課題学習を行う。課題はあらかじめ提示する 日ごろから、専門看護師による介入が必要な事例・事例展開に関する文献、精神療法による介入事例等の文献を講読およびクリティークする。

成績評価方法	<p>2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする 評価基準</p> <p>A+ 精神看護専門看護師の役割と機能を踏まえ、全ての事例についてアセスメントと援助計画を論理的に述べることができる A 精神看護専門看護師の役割と機能を踏まえ、いくつかの事例についてアセスメントと援助計画を論理的に述べることができる B 精神看護専門看護師の役割と機能を踏まえ、事例のアセスメントと援助計画を述べる ことができる C 精神看護専門看護師の役割と機能、及び事例のアセスメントと援助計画についてそれぞれに述べる ことができる D 事例のアセスメントと援助計画は述べる ことができるが、精神看護専門看護師としてまとめる ことができない</p>
教材・参考文献・配布資料等 その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う 自ら積極的に学び、科学的、論理的な視点を持って討議に参加すること